

がんと診断した時からの 段階的な相談支援

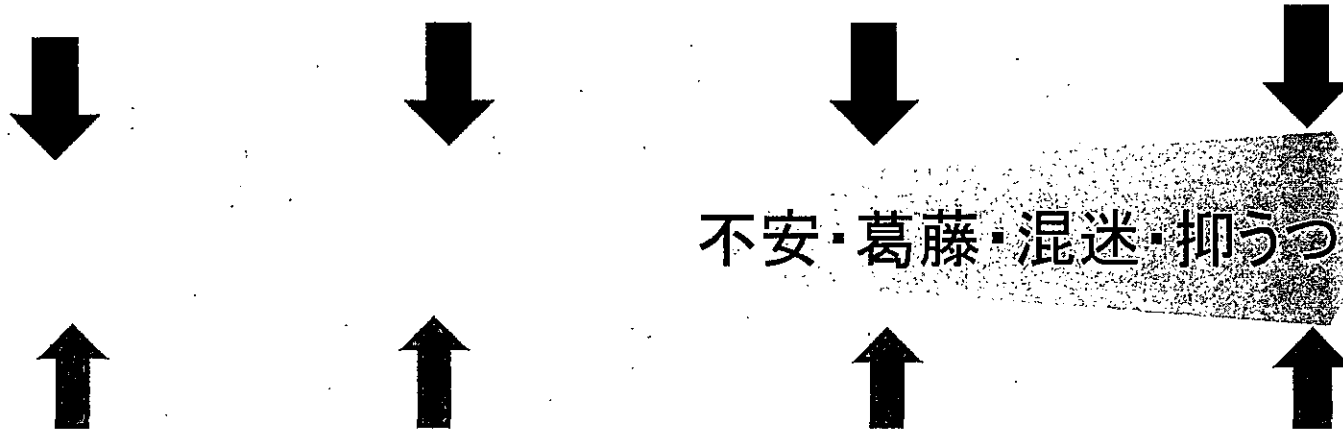
小松 浩子

慶應義塾大学看護医療学部

段階的な説明と支援体制

段階的な診断過程

初期診断 確定診断(病理) (遺伝子検査) 全身の精査



段階的な説明

段階的、複数回の相談・支援
スクリーニングとコンサルテーション

面談時間と面談回数の割合 (例：A病院がんカウンセリング)

IC後面談時間	初回面談(IC含め) 平均60.5分
治療方針決定までの面談回数	1回 (37%) 2回 (54%) 3回～4回 (8%)

IC: インフォームドコンセント

看護相談からの連携

A病院外来看護相談160例中

総合相談センター依頼(経済)	27 件
総合相談センター(介護)	16 件
総合相談センター依頼(転院)	14 件
緩和ケアセンター依頼	6 件

カウンセリング対象患者の反応

【1回目】

- 医師の説明を覚えていない
- 今後の生活への不安
- 治療内容および治療後の生活の不安 など

【1回目の面接から次回面談までの反応】

※面接、電話での対応

- セカンドオピニオンの希望
- 病名の確認
- 検査の拒否
- 医師からの説明を再度希望
- 家族への説明を希望
- 家族が患者への説明を拒否 など

段階的な説明と支援体制

- がん患者カウンセリングの強化
 - ・ 複数回
 - ・ 専門看護師、認定看護師による相談支援
(がん看護外来)
 - ・ 電話による相談支援
- 他部門との連携強化
 - ・ 院内の連携パス
 - ・ 外来から在宅への連携
- 緩和ケアセンターによる包括的支援体制